

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	新ひだか児童養育相談センター			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しみに来てくれていること	子ども達一人ひとりの特徴を考え、具体的な対応方法として検討していること	子ども達一人ひとりの特徴を踏まえて検討していく方向性は継続し、取り組みの方法・支援技術等の研鑽にも力を入れる
2	保護者一人ひとりへのフォロー	個別支援計画書の説明時だけでなく、その他の相談事がある際にもできるだけ個別で相談を受けられる体制・時間を設けている。	利用児への対応時間や職員の担当数との兼ね合いはあるが、できるだけ保護者方の悩みは早くお聞きし、対応につなげる
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学齢児の年齢や体格に合わせたスペースやホールの大きさではなかった	古い建物なので最大限修繕等を行いながらスペースを使ってきた。	令和7年5月からは新建物での運営となるので、スペースの問題は解消される予定
2	利用希望者数に対して職員数が足りていない	現在の職員数で出来る範囲での対応を行ってきた。子どもへの直接支援の部分だけでなく、保護者支援・他の機関との連携等行う事が多岐に及ぶがどのように対応するか	現在の職員数で、通園者数分の直接支援・保護者支援・関係機関との連絡、書類作成、内部業務等を行う事には対応できる量に限界がある。
3			